

取扱説明書

工事説明書別添付

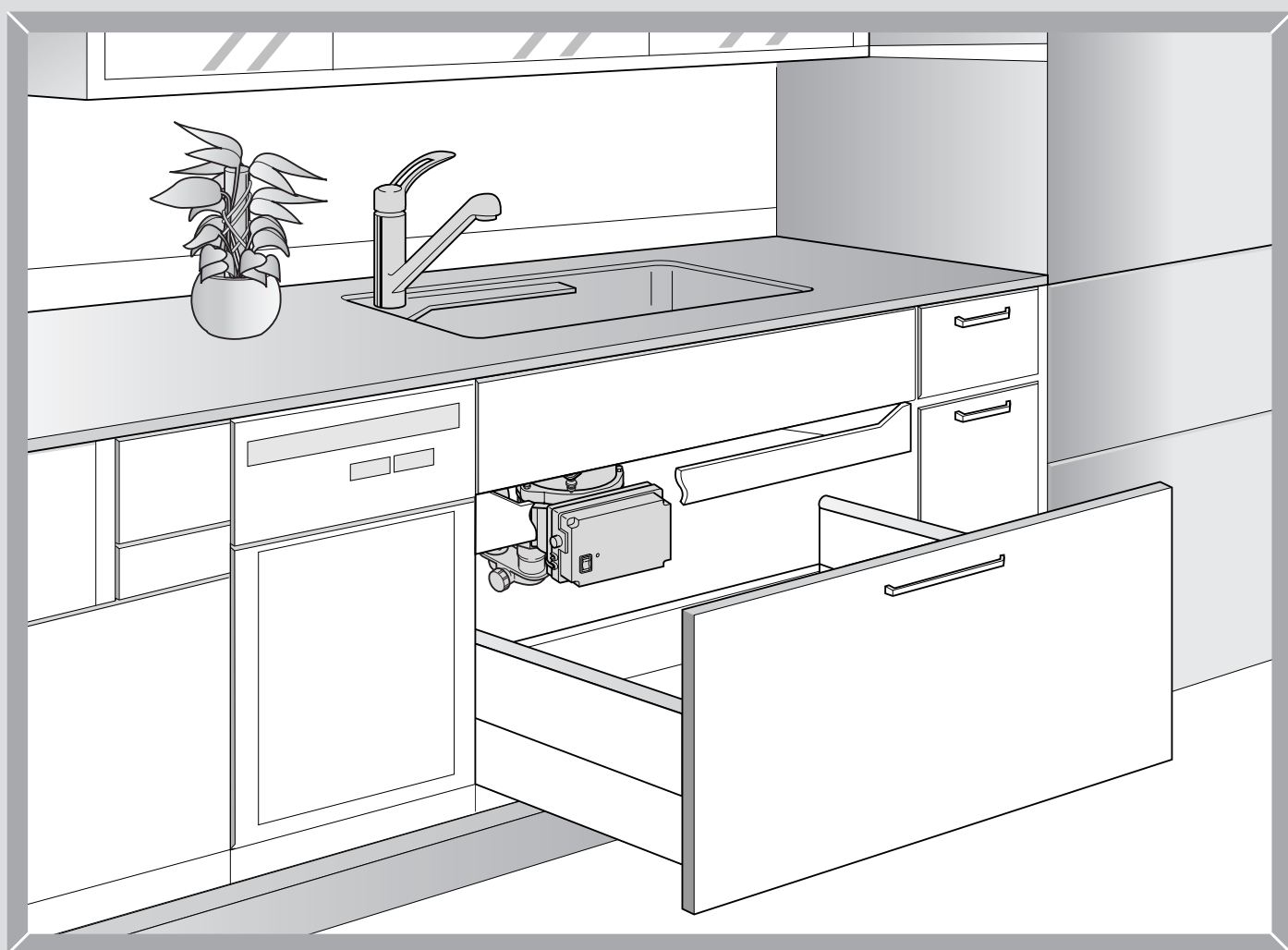
ディスポーザー

家庭用

屋内設置専用

品番

KD-132



ディスポーザー単独での使用はできません。当社指定の処理槽と一緒に使用してください。

このたびは、ディスポーザーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- 本機は水抜きタイプではありませんので、寒冷地区で凍結の恐れのある場合は使用できません。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(4～5ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・工事店名」などの記入を必ず確かめ、工事店からお受け取りください。
- 正しい設置および正しく使用されなかった場合の製品の故障および事故について、当社は責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

保証書別添付

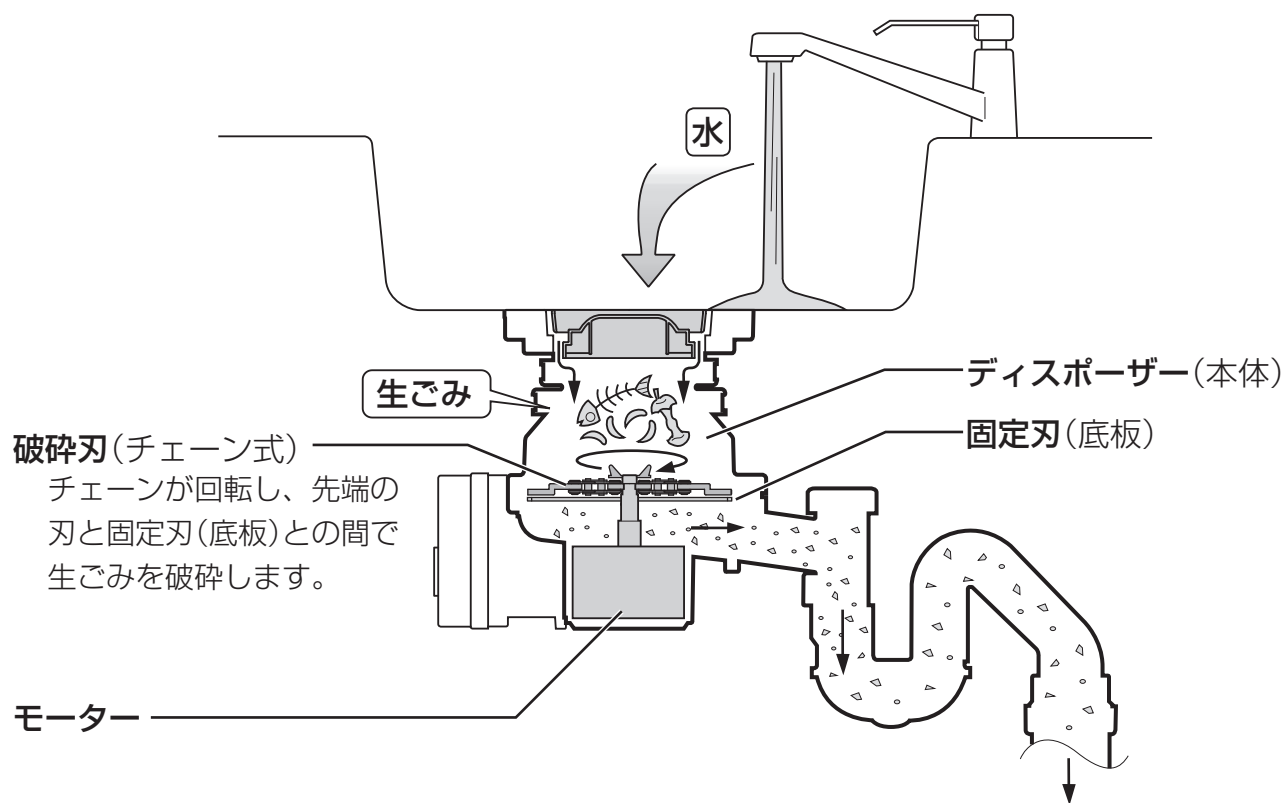
上手に使って上手に節電

生ごみを破碎し水とともに洗い流す！

ディスポーザー

破碎のしくみ

ディスポーザーとは、家庭で出される生ごみを破碎し、水道水とともに地中に埋め込まれた処理槽へ流す装置です。

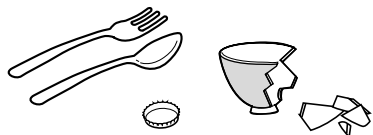


屋外処理槽へ

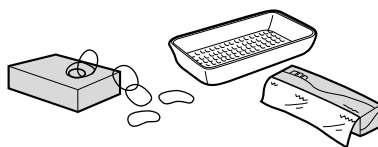
※ディスポーザー単独での使用はできません。
当社指定の処理槽と一緒に使用してください。

投入口に、次のような物は絶対に入れないでください。

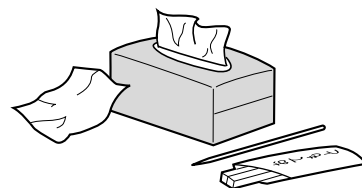
金属・プラスチック・陶器類



ラップ・プラスチックトレイ・
ビニール・ゴム類



紙・木類



たばこの吸いから・灰など



貝がら・かになどのから



薬品類(殺虫剤・除草剤など)・
強酸性や強アルカリ性の洗浄剤



本体の故障や、配管の詰まりの原因になります。また、処理槽で正常な処理ができなくなります。

も く じ

は じ め に

安全上のご注意	4
正しくお使いいただくためのお願い.....	6
各部のなまえ	7

は
じ
め
に

使 い か た

使いかた	8
● 上手な使いかた.....	10
● 長期間使用されないときには.....	10

使
い
か
た

こ ん な と き に は

お手入れ	10
● 漏電しゃ断器の点検	11
故障かな？と思ったときには	12
保証とアフターサービス	15
仕 様	裏表紙

こ
ん
な
と
き
に
は

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

絶対に分解したり、修理・改造はしない  火災・感電・けがの原因になります。 分解禁止 ● 修理は工事店にご相談ください。	ぬれた手で電源スイッチを操作しない  感電の原因になります。 ぬれ手禁止
本体や制御ボックスをぬらさない  漏電・感電の原因になります。 水ぬれ禁止	電源コード・漏電しゃ断器付プラグを破損するようなことはしない (傷つける、加工する、無理に曲げる、ねじる、 引っ張る、熱器具に近づける、重いものを載せる、 束ねる、はさみ込む など)  禁止 ● コードやプラグの修理は、工事店にご相談ください。
コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない  たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。 禁止	漏電しゃ断器付プラグのほこりなどは、定期的にとる  プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。 ● 漏電しゃ断器付プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
漏電しゃ断器付プラグは、根元まで確実に差し込む  差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。 ● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。	

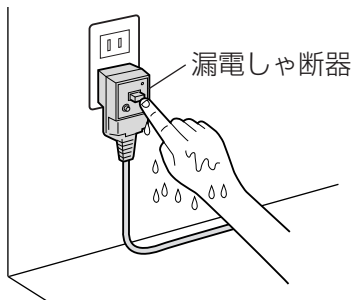
⚠ 警告

ぬれた手で、漏電しゃ断器付プラグの抜き差しや、漏電しゃ断器の操作・点検をしない



ぬれ手禁止

感電の原因になります。

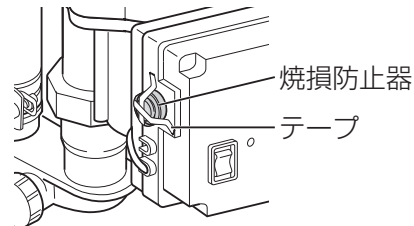


焼損防止器(赤ボタン)を、テープなどで固定しない



禁止

モーターに異常負荷がかかり、火災の原因になります。



⚠ 注意

異物を取り除くときは、電源スイッチを必ず「切」にし、運転が止まっていることを確認する



破碎部内の破碎刃などで、手にけがをする原因になることがあります。

- 厚手の手袋などを着用して行ってください。
- 異物を取り除いた後は、電源スイッチを「入」にしてください。

異物を取り除くとき以外は、投入口の中に手を入れない
(特にお子様には注意してください。)



禁止

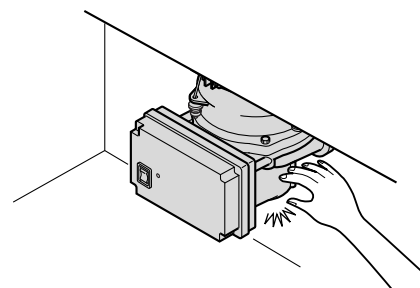


破碎部内の破碎刃などで、手にけがをする原因になることがあります。

モーターに直接手を触れない



接触禁止



高温になっている場合があり、やけどの原因になることがあります。

ため水を流すときは、絶対に運転しない



禁止

運転中に本体やシンクが大きく振動し、本体が落ちてけがや流し台内部の破損・水漏れの原因になることがあります。

シンクに、連続して60℃以上の温水を流さない



禁止

排出管の変形や劣化が発生し、水漏れの原因になることがあります。

正しくお使いいただくためのお願い

アース工事に関して工事店に必ず確認してください

アース線が取り付けられていますか？

- 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
アース線の取り付けは、法律で義務づけられています。

アース線をガス管、水道管、電話線および避雷針に接続していませんか？

- 爆発・感電の原因になります。

■フタ(フタスイッチ)を落とさないでください。

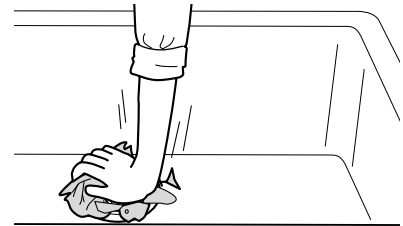
フタ(フタスイッチ)が破損し、故障の原因になることがあります。

■生ごみを破碎するときは、必ず水を流してください。(毎分約8リットル以上)

水を流さないと、配管の詰まりの原因になります。
また、破碎処理が正常にできず、本体内部の部品がはやく摩耗する原因になります。

■生ごみは無理に押し込まないでください。

(悪い例)

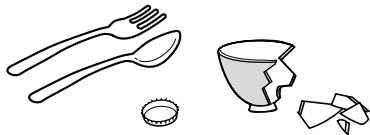


生ごみが破碎できなくなります。また、モーターに負荷がかかりすぎ、故障の原因になることがあります。

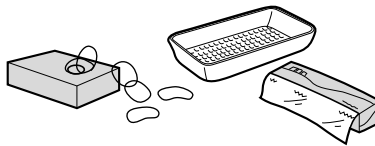
■停電時や、故障時(ブザーが「ピッピッ・・・」と鳴りつづけるとき)などは、使用しないでください。

■投入口に、次のような物は絶対に入れないでください。

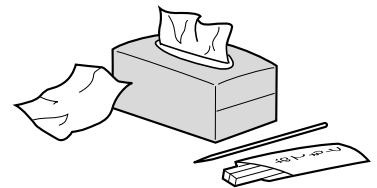
金属・プラスチック・陶器類



ラップ・プラスチックトレイ・ビニール・ゴム類



紙・木類



たばこの吸いがら・灰など



貝がら・かになどのから



薬品類(殺虫剤・除草剤など)・
強酸性や強アルカリ性の洗剤



本体の故障や、配管の詰まりの原因になります。また、処理槽で正常な処理ができなくなります。

■投入口に、次のような物を多量に入れないでください。

- とうもろこし・竹の子などの皮
- 枝豆のから
(繊維質のもの)

配管の詰まりの原因になります。

- 食器洗いに使用される量や、鍋などに付着している油量程度は
支障ありません。

- 台所用洗剤



- サラダ油
- 天ぷら油など

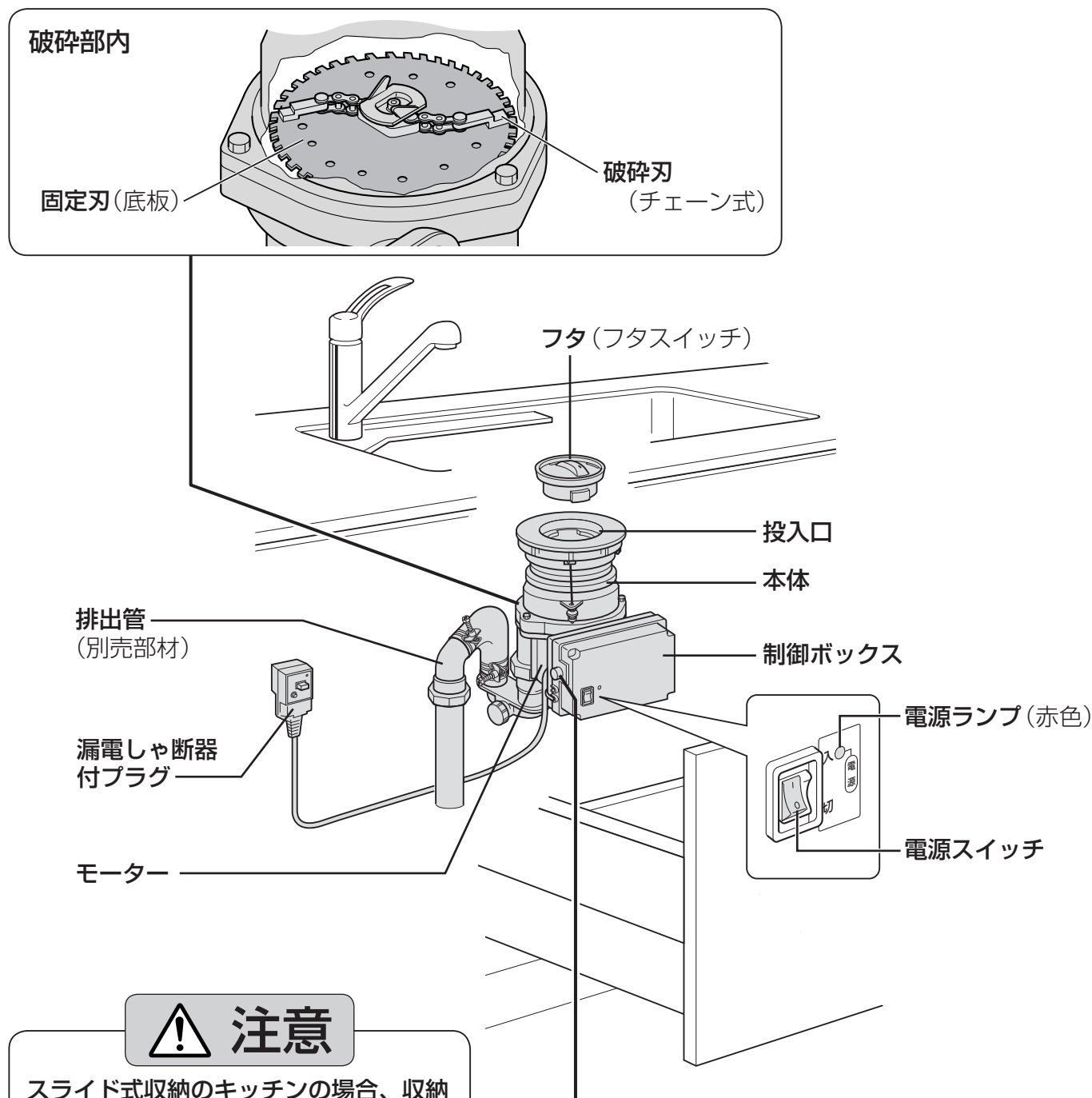


処理槽で、正常な処理ができなくなる原因になります。

■卵の殻は、できるだけ投入しないでください。

流れにくいので、配管にたまって詰まりの原因になります。

各部のなまえ



⚠ 注意

スライド式収納のキッチンの場合、収納物が本体に当たらないようにする



収納物破損の原因になることがあります。

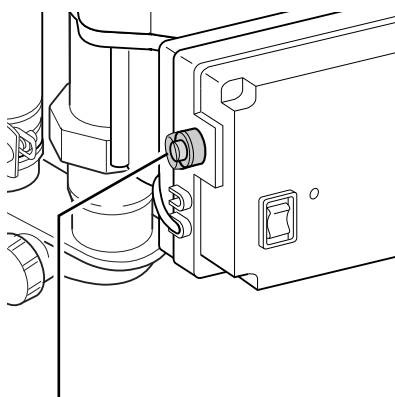
⚠ 警告

焼損防止器(赤ボタン)を、テープなどで固定しない



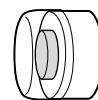
禁止

モーターに異常負荷がかかり、火災の原因になります。



焼損防止器(赤ボタン)

- モーターに異常負荷がかかると作動し、モーターの過熱焼損を防止します。



(正常時)

- 赤ボタンが飛び出す



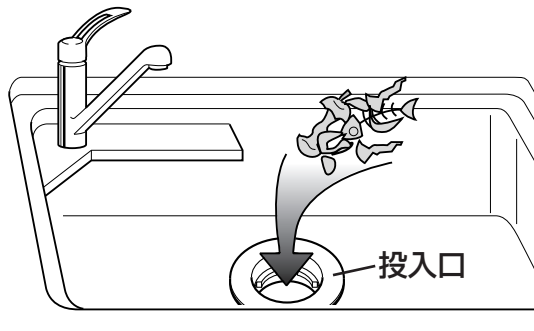
(作動時)

使いかた

- 電源ランプが点灯しているか確認してください。

1 生ごみを投入口から入れる

- 1回の投入量の目安は約400 gです。破碎しにくいもの(10ページ「運転回数の目安」参照)は、1回の投入量を少なめにしてください。

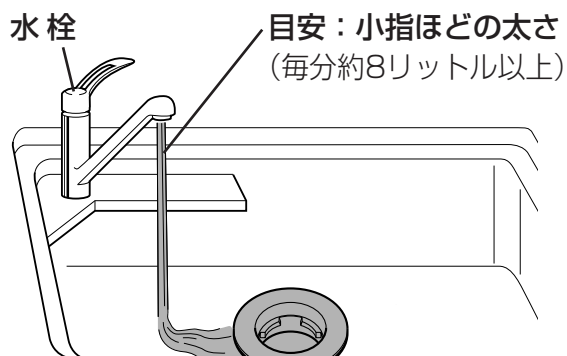


お願い

- 生ごみは無理に押し込まないでください。
(生ごみが破碎できなくなります。また、モーターに負荷がかかりすぎ、故障の原因になることがあります。)
- 食品以外のもの・貝がら・かになどのからは投入しないでください。(6ページ参照)
- 以下のものは、多量に投入しないでください。
 - 生魚の皮 ●鳥の皮 ●イカの皮
 - メロン・スイカなどの皮(大きな果物)
 - とうもろこし・竹の子などの皮、枝豆のから(繊維質のもの)
 - とうもろこし・キャベツなどの芯
 - 生のカボチャ・大根などの大きなかたまり(正常に破碎できないことがあり、配管の詰まりの原因になります。)
- 卵の殻は、できるだけ投入しないでください。
(流れにくいいため、配管にたまって詰まりの原因になります。)

2 水栓を開く

- 水の量が少ないと、配管の詰まりの原因になることがあります。



⚠ 注意

シンクに、連続して60℃以上の温水を流さない



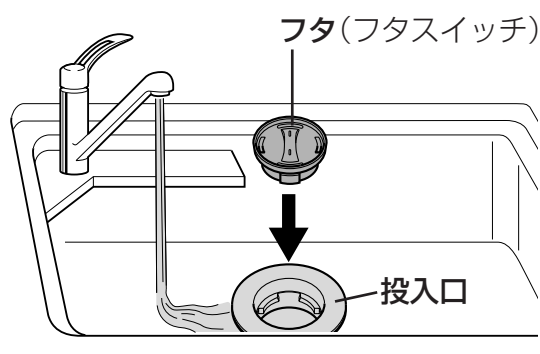
禁止

排出管の変形や劣化が発生し、水漏れの原因になることがあります。

お願い

- 流量センサー(別売り)を設置している場合は、水栓レバーの位置をいちばん水側にして、水だけを流してください。

3 投入口にフタをする



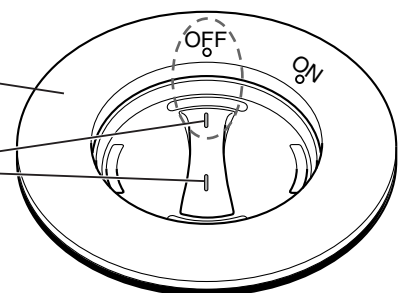
フタの取り付けかた

- フタの「マーク」を「OFF」に合わせて取り付けてください。

投入口

マーク

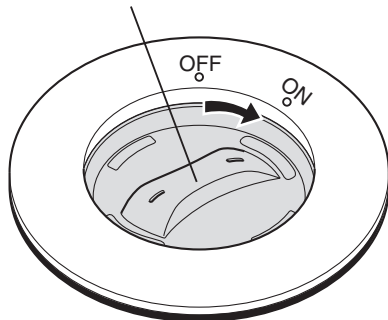
どちらを合わせても、取り付けられます。



4 フタスイッチを「ON」にする (ブザーが「ピッ」と鳴り、破碎が始まる)

- 本機は、1回の運転で約1分間破碎します。(破碎終了後、ブザーが「ピー」と鳴ります。) 破碎しにくいものは、10ページの「運転回数の目安」に従い、運転をくり返してください。

フタ(フタスイッチ)



お願い

- 投入口にフタを取り付けたら、15分以内に運転してください。
(安全機能がはたらくため、15分を過ぎて「ON」にすると、ブザーが「ピーピーピー」と鳴り運転できません。)
- 運転をくり返すときは、フタスイッチを一度「OFF」にしてから、再度「ON」にしてください。

お知らせ

- 1回の運転中に、破碎音が急にしなくなる(約1秒～2秒)ことがあります。異常ではありません。(12ページ参照)

〔運転を途中で止めるときは、フタスイッチを「OFF」にする(ブザーが「ピー」と鳴る)〕

5 破碎が終わったら 水栓を閉め、水を止める

お願い

- 運転中に破碎音が小さくなっても、破碎部内に生ごみが残っている場合がありますので、そのまま約10秒間、水を流しながら運転してください。

6 フタスイッチを「OFF」にする

お願い

- ディスポーザーを使用していないときは、フタスイッチを「OFF」にしてください。「ON」にしていると、投入口への水の流れが悪くなります。
(運転中の破碎音を低減するため、「ON」の位置では水を流れにくくしています。)

お願い

- フタを時計などの精密機器に近づけないでください。
(フタに内蔵されている磁石で、機器故障の原因になることがあります。)
- フタには磁石が内蔵されているので、金属が付きます。付いた場合はきれいに取除いてください。
(金属類が付いていると、フタを確実に取り付けられない場合があります。)
- 運転中に、異常音が生じたり異常な振動がある場合は、すぐに運転を止めて破碎部内を確認してください。(12ページ参照)
(誤ってスプーンなどの金属類が入っている場合、故障や配管の詰まりの原因になります。)
- 別売りの流量センサー(P-DS1)または自動給水システムを設置している場合は、それぞれに添付の説明書もお読みください。

お知らせ

- かたいものを破碎した場合、破碎時の衝撃で、本体内部の塗装がはがれることがありますが、異常ではありません。

使いかた

上手な使いかた

- 大きなものや、かたいものは、細かくしてから投入すると破碎しやすくなります。
(スイカ・グレープフルーツの皮、とうもろこし・キャベツなどの芯、生の大根・カボチャなど)
- かたいものや、軽いもの(お茶の葉など)は、ほかの生ごみと混ぜると破碎しやすくなります。

■ 運転回数の目安 (投入量約400 gのときの目安です。)

生ごみの種類		運 転 回 数(時間の目安)
やわらかいもの	ごはん・果物・野菜など	1 回(約30秒～1分)
破碎しにくいもの	たくあん・鳥ガラや魚の骨など	3 回(約3分)
	ナスやピーマンなどのヘタ・スルメ・ 生のもち・ぶどうの枝など	4 回(約4分)
	玉ねぎの皮など	6 回(約6分)

- 運転後、破碎部に生ごみが残っている場合は、水を流しながら再度運転をしてください。
- 運転のくり返しを6分(6回)をこえて続けしないでください。(モーターが過熱し、故障の原因になります。)

長期間使用されないときには

- 本機は、運転停止時でも約1 Wの電力を消費しています。
長期間使用されないときには、電源スイッチを「切」にしてください。

お手入れ

破 碎 部

投入口からの臭いが気になるときは、破碎部を洗浄してください。

⇒ 生ごみを入れずに小指ほどの太さの水を流しながら、1 回(約1 分間)運転する

- 洗剤などは使わないでください。(処理槽で正常な処理ができなくなる原因になります。)

排 水 管

1 週間に1 回程度、ため水を流してください。

⇒ フタを取りはずし、ため水(約5 L)を一気に流す
〔流れにくいもの(卵の殻など)を流すためです。〕

投入口・フタ

- 水で洗ってください。

お手入れ

本体・制御ボックス・排出管

- 柔らかい布でふいてください。
(ひどい汚れには、台所用中性洗剤か石けん水を含ませ、かたくしぼってお使いください。)
- クレンザー・シンナー・ベンジン・アルコール・灯油などを使わないでください。
(変色、変形の原因になります。)

警告

本体や制御ボックスをぬらさない



漏電・感電の原因になります。

水ぬれ禁止

お知らせ

- 使用環境によっては、結露などの水滴が本体の下に落ちることがあります。

漏電しゃ断器の点検 (1ヵ月に1回程度)

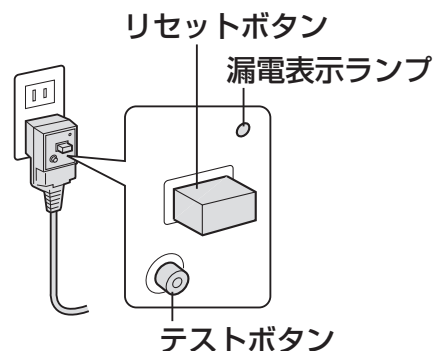
漏電しゃ断器の点検をするときは、電源スイッチを「入」にしておいてください。

1 漏電しゃ断器のテストボタンを押す

- 正常なときは、漏電表示ランプが点灯します。

2 リセットボタンを押す

- ブザーが「ピッ」と鳴り、漏電表示ランプが消灯します。



テストボタンを押しても漏電表示ランプが点灯しないときは、必ず工事店へ修理を依頼してください。

警告

ぬれた手で、漏電しゃ断器を操作・点検しない



感電の原因になります。

ぬれ手禁止

注意

漏電しゃ断器は、月1回程度テストボタンを押して動作確認をする



動作不良のときは、感電の原因になることがあります。

- 動作不良のときは、工事店へ修理を依頼してください。

お願い

- 漏電しゃ断器の前には、ボタン操作の障害になるような物を置かないでください。

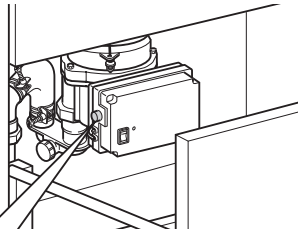
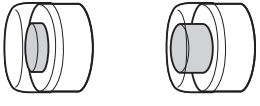
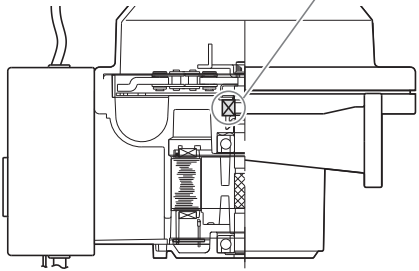
使
い
か
た

こ
ん
な
と
き
に
は

故障かな？と思ったときには

■ 次の表に従って調べていただき、なお異常のある場合は、すぐに電源スイッチを「切」にして、工事店へご連絡ください。

症 状	原 因	対応いただく内容
フタスイッチを「ON」にしても運転しない	▶ 停電しているのでは？	▶ 停電の解除を待ってください。
	▶ 電源スイッチが「切」になっているのでは？	▶ 電源スイッチを「入」にしてください。(7ページ参照)
	▶ 漏電しゃ断器の漏電表示ランプが点灯しているのでは？	▶ リセットボタンを押し、漏電表示ランプの消灯を確認してください。(11ページ参照)
フタスイッチを「ON」にすると、ブザーが「ピッピッ…」と5回鳴り運転しない	▶ 異物(かたいもの・大きな固まり状のもの)がかみ込み、破碎刃が動かなくなっているのでは？	▶ 電源スイッチを「切」(7ページ参照)にし、厚手の手袋などを着用して破碎部内の異物を取り除き、破碎刃の中心部分が手で回ることを確認してください。  手袋 破碎刃の中心部分
	▶ 生ごみを詰め込みすぎているのでは？	
運転中にモーターから異常音がしたり、異常な振動がある	▶ 生ごみを詰め込みすぎているのでは？	▶ 処置後、電源スイッチを「入」にしてください。
	▶ スプーンなどの金属類やプラスチック類を、誤って入れてしまったのでは？	
	▶ 大きなものや、かたいものを破碎したのでは？	▶ できるだけ細かくして投入してください。(10ページ参照)
	▶ ため水を流しながら、運転しているのでは？	▶ フタスイッチを「OFF」にし、運転を止めてください。
1回の運転中に、破碎音が急にしなくなる	▶ 大きなものや、かたいものを多量に投入したのでは？	▶ モーターのロックを防止するため、破碎刃の回転方向を一時的に逆転することがあります。異常ではありません。できるだけ細かくして投入してください。(10ページ参照)
投入口への、水の流れが悪い	▶ 生ごみを、入れすぎているのでは？	▶ 投入量を少なくしてください。
	▶ 破碎が終わっているのに、フタスイッチが「ON」の位置になっているのでは？	▶ フタスイッチを「OFF」の位置にしてください。(9ページ参照)
フタスイッチを「ON」にすると、ブザーが「ピーピー」と鳴り運転しない	▶ 投入口にフタを取り付けてから、15分過ぎているのでは？	▶ フタスイッチを一度「OFF」に戻してから、再度「ON」にしてください。(9ページ参照)

症 状	原 因	対 応
フタスイッチを「ON」にすると、ブザーが「ピーピー…」と5回鳴り運転しない	短時間に6分(6回)をこえて運転をくり返したのでは？	6分(6回)をこえる運転のくり返しを続けると、製品保護のため一時的に運転ができなくなります。フタスイッチを「OFF」にし、約30分間待ってから運転してください。
運転中にブザーが「ピーピー…」と5回鳴り運転が止まる	短時間に6分(6回)をこえて運転をくり返したのでは？	
ブザーが「ピッピッ…」と10回鳴る	環境によっては、機器の保護のため、運転を停止します。	フタスイッチを「OFF」にし、約30分間待ってから運転してください。 ※環境によって30分以上かかることがあります。
ブザーが「ピッピッ…」と鳴る(約1分間)	焼損防止器が作動して赤ボタンが飛び出しているのでは？  焼損防止器  (正常時) (作動時)	電源スイッチを「切」(7ページ参照)にし、赤ボタンを押してください。 処置後、電源スイッチを「入」にして、再度焼損防止器が作動する場合は、使用を中止し、電源スイッチを「切」にして、工事店へ修理を依頼して下さい。
ブザーが「ピッピッ…」と鳴りつづける	本体の故障です。	使用を中止し、電源スイッチを「切」にして、工事店へ修理を依頼してください。
本体の底から水が漏れる	軸封部(オイルシール)からの水漏れでは？  オイルシール	オイルシールは長年使用しますと摩耗し、水漏れが発生します。工事店に交換をご依頼ください。交換目安は3年です。 (交換時期は、使用時間などで異なります。)

故障かな？と思ったときには（つづき）

■ 流量センサー(別売り)を設置している場合のみ

症 状	原 因	対応いただく内容
フタスイッチを「ON」にすると、ブザーが「ピーピー…」と鳴り（約1分間）運転しない	水の量が少ないのでは？ （毎分約8リットル未満）	水栓を開いてください。 （8ページ参照）
	水栓レバーが、お湯または湯水混合の位置になっているのでは？	水栓レバーの位置をいちばん水側にして、水だけを流してください。
	水を流す前に、フタスイッチを「ON」にしたのでは？	水を毎分約8リットル以上流しながら、フタスイッチを「ON」にしてください。
	流量センサーのフィルターが、目詰まりしているのでは？	フィルターのお手入れを工事店へ依頼してください。
運転中にブザーが「ピーピー」と鳴り運転が止まる	水の量が低下したのでは？	水栓を開いてください。 （8ページ参照） そのあと、フタスイッチを一度「OFF」に戻してから、再度「ON」にしてください。（9ページ参照）
	流量センサーのフィルターが、目詰まりしているのでは？	フィルターのお手入れを工事店へ依頼してください。

保証とアフターサービス (よくお読みください。)

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は……

まず、工事店へ
お申し付けください

相談先がなくお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「パナソニック 電工株式会社 電器事業本部 久留米工場」へ！

■保証書(別添付)

お買い上げ日・工事店名などの記入を必ず確かめ、工事店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間 7年

当社は、このディスポーザーの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。
注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

12～14ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源スイッチを「切」にして、工事店へご連絡ください。

- 保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。
- 修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容

製 品 名	ディスポーザー
品 番	KD-132
お買い上げ日	年 月 日
故 障 の 状 況	できるだけ具体的に

パナソニック電工お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へお申し付けください。

●転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、下記窓口へ

修理・部品などのご相談は

修理ご相談センター

ナビダイヤル  ハイ 365日
(全国共通番号) **0570-081-365**
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
365日／受付9時～20時

ただし、携帯電話・PHS等は下記の電話番号へおかけください。

大 阪 ☎ 06-6906-1090

〒571-8686 大阪府門真市門真1048

パナソニック電工テクノサービス(株)

札 幌 ☎ 011-261-6401 転 名古屋 ☎ 052-551-7900 転

東 京 ☎ 03-5392-7190 転 福 岡 ☎ 092-622-0531 転

使いかた・お買い物などのご相談

電器事業本部 久留米工場

電 話 0942-62-1605 (直通)

FAX 0942-62-1615

ご注意 ●☎印は大阪へ自動転送になり、拠点から大阪までの転送通信料は弊社負担です。

●所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

0810

ご相談窓口における個人情報の取り扱い

パナソニック電工株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。なお、折り返し電話させていただくときのため、ナンバーディスプレイを採用しています。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

仕 様

設 置 場 所	流し台シンク下部
使 用 可 能 水 温	0℃～40℃
電 源 周 波 数	50 Hz / 60 Hz 共用
電 圧	AC100 V
電 動 機 形 式	DCブラシレスモーター
定 格 出 力	125 W
定 格 消 費 電 力	130 W (50 Hz / 60 Hz)、運転停止時(待機電力)：約1 W
連 続 運 転 時 間	6分(1分×6回)
ス イ ッ チ の 種 類	フタスイッチ方式
破 碎 方 式	チェーンミル方式
安 全 装 置	焼損防止器、漏電しゃ断器
破 碎 部 容 量	約1.2 L(1回あたりの処理容量：約400 g)
外 形 寸 法	幅188 mm × 奥行き239 mm × 高さ235 mm
質 量	4.5 kg
ディスポージャー制御	マイコン制御
電 源 コ ー ド の 長 さ	1.25 m

愛情点検	長年ご使用のディスポージャーの点検を！	
	こんな症状はありませんか ●ブザーが「ピッピッ・・・」と鳴りつづける ●焼損防止器や漏電しゃ断器がたびたび作動する	以上のような症状のときは使用を中止し、故障や事故の防止のため、電源スイッチを「切」にして、必ず工事店に点検を依頼してください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年 月 日	品 番	KD-132
工 事 店 名	電話（ ） —		
お 客 様 ご相談窓口	電話（ ） —		

パナソニック電工株式会社 アクア・デバイス事業部

〒522-8520 滋賀県彦根市岡町33番地

© Panasonic Electric Works Co., Ltd. 2008

ZGS0D1320F S1003T6108 ⑩